



Contents

- 「新年度を迎えて」 片山 容一 院長
- 脳の病気 No.4 「くも膜下出血」<梅森 勉 医師>
- 第11回 放射線治療のおはなし <唐澤 久美子 教授>
- BLS <吉田 健太郎 医師>
- トピックス
 - ・発熱外来のご案内
 - ・おくすりの豆知識



もしかして **脳卒中**?! ~ こんな症状があれば様子見ではなく、すぐに119番へ! ~

F ace(フェイス)
顔の歪みや
顔の麻痺

A rm(アーム)
腕や足に
力が入らない

S peech(スピーチ)
言葉が出ない
ろれつが回らない

T ime(タイム)
症状に気付いたら
至急119番!

Time is Brain (時は脳なり) … 脳梗塞の治療では発症より血行再開までの時間短縮が重要です!!

『 新年度を迎えて 』

今年度、当院は開設して6年目に入ります。年々、地域の皆さんのお役に立てることが増えてきました。医療連携などとおして、温かいご支援をいただいているお蔭です。心より御礼申し上げます。

当院は、ここ数年、地域の皆さんにとって「安心できる病院」になることを目標に掲げ、職員一同、努力と工夫を重ねてきました。少しずつですが皆さんからの信用と信頼をいただけるようになってきたように思います。そういう意味で、この目標の半分くらいは達成できたのかも知れません。

しかし、「安心できる病院」になるためには、もう一つ不可欠なことがあります。それは、職員にとって「働きやすい病院」でもなければならぬということです。働きやすい環境は、より多くの優れた人材をみつめ、仕事の効率を向上させ、仕事と生活のバランスを改善することにつながります。それでこそ、心に余裕を持ち、きめ

細かな心配りができるようにになります。それが「安心できる病院」の土台に他なりません。

今年度は、「働きやすい病院」にすることにも、今まで以上に力を入れたいと思います。そのためには、いろいろな職種の方々がチームとして働いていることを意識して、お互いの仕事にきめ細かな配慮をする努力をしなければなりません。パウハラなど論外です。

新しく入職された方々とともに、地域の皆さんにとって「安心できる病院」になることを目指して、力を合わせていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



総長 兼 院長 片山 容一

脳の病気 No.4 【くも膜下出血（くもまっかしゅっけつ）】

原因

- 1. 脳動脈瘤の破裂** くも膜下出血の原因の8～9割は脳動脈瘤の破裂とされています。脳動脈瘤とは、くも膜下腔を走行する動脈にできる風船のように膨らんだ“こぶ（瘤）”のことです。動脈瘤の壁は薄くなっており、血圧が一時的に上昇しときなどに破裂するリスクが高くなります。
- 2. 頭部外傷** 軽度な場合は自覚症状がないこともありますが、重症の場合は急性硬膜下血腫、脳挫傷を合併し命に関わる状態になることもあります。
- 3. 血管奇形** 先天的な血管の異常は出血を引き起こしやすく、破裂するとくも膜下出血や脳内出血を発症することがあります。まれな病気ですが、若い世代でもくも膜下出血を引き起こす可能性があります。

症状、経過

突然“バットで殴られたような強い頭痛”が生じることが特徴です。頭痛は吐き気や嘔吐を伴い、意識がもうろうしたり意識障害を生じることがあります。また、脳内に出血を伴う場合には手足の麻痺や言葉が出ないといった神経症状を伴います。

脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血は、発症すると3割近くがそのまま命を落とすとされています。また、命を落とさない場合でも、くも膜下腔内の出血が脳を圧迫する状態が続くと脳にダメージが加わって重篤な後遺症を残すことも少なくありません。無事に治療を終えたとしても、続発する脳血管れん縮（くも膜下腔の出血がそこを通る脳動脈を収縮させ、脳の血流が乏しくなる現象）、水頭症などのリスクもあるため、完全に社会復帰できるのは4人に1人とされています。

診断

CT、MRI、CTによる脳血管撮影、脳血管撮影を組み合わせることにより、くも膜下出血の診断、原因となる脳動脈瘤や他の血管異常の存在を確認します。

治療

開頭による脳動脈瘤クリッピング術や血管内からのコイル塞栓術があります。詳細は前回の未破裂脳動脈瘤をご覧ください。

次号は「慢性硬膜下血腫」について詳しくご説明します。



脳神経外科 主任部長
救急センター長
梅森 勉 先生

脳神経外科は毎日外来診療を行っています。また、救急も24時間365日対応していますので受診の際はまず電話での相談を！

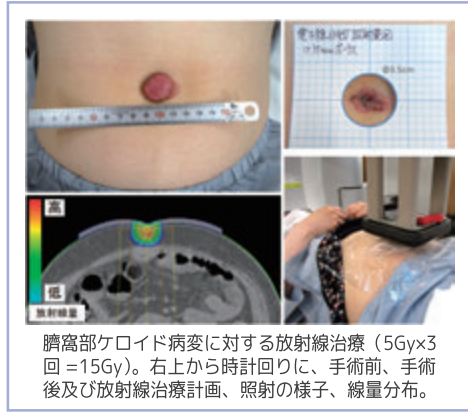
「良性の病気への放射線治療」

ケロイド、甲状腺眼症、血管腫など

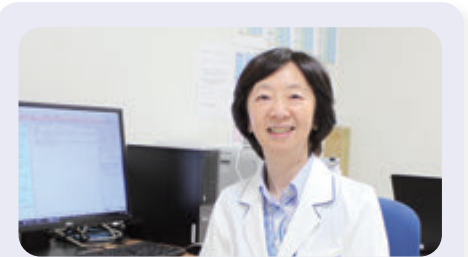
放射線治療を行う病気のほとんどは悪性腫瘍ですが、良性の病気に対する放射線療法も有用な手段です。脊髄や脳の深い部分にできた手術困難あるいは手術の負担が大きい良性腫瘍にはよく使われますが、他にも、ケロイド、血管腫・動脈奇形、甲状腺眼症、不整脈、三叉神経痛などの良性疾患に使います。腫瘍以外の良性疾患に対する放射線治療は、線量が少なく短期間で治療を終えることができます。

当院では、良性腫瘍以外には、形成外科からのご依頼でケロイドに対する放射線治療を行なっています。ケロイドは手術の創やピアスの穴などに生じ、痛みや痒みを伴います。まずは、保存的に薬剤、局所注射、テープ貼付、圧迫療法などで治療しますが、症状の改善しない患者さんには、ケロイド摘出術を行います。術後すぐに少量の放射線を数日照射する治療法が有効です。この場合の放射線は電子線という皮膚の表面にだけかかり、体の奥には届かないので、使用量が少ないです。

この照射で、副作用はほとんどありません。奇形動脈腫、手術による



臍窩部ケロイド病変に対する放射線治療 (5Gy×3回=15Gy)。右上から時計回りに、手術前、手術後及び放射線治療計画、照射の様子、線量分布。



唐澤久美子 先生

東京女子医科大学 放射線腫瘍学講座 教授・基幹分野長
青森新都市病院 高精度放射線治療センター長

専門医：放射線治療専門医、がん治療認定医、
乳癌学会乳腺専門医

専門分野：がん放射線療法(特に乳癌など)、粒子線治療

甲状腺眼症はバセドウ病などに伴う目の合併症で、眼を動かす筋肉とその周りの脂肪が腫れて眼が突出して、痛みや複視などが起こります。この場合にも眼を動かす筋肉とその周りに少量の照射を行うことで、目の突出が数ヶ月の経過で改善します。不整脈アブレーション、三叉神経痛に対する放射線療法は、ピンポイントでレーザーのように放射線を照射して異常な神経を焼き切るように治療する治療法です。高精度に限局して照射できる技術の進歩とともに、良性の病気への適応は広がってきています。

特集

BLS (Basic Life Support: 一次救命処置)

リハビリテーション科
アメリカ心臓協会
BLSインストラクター



吉田 健太郎 先生

BLSってなに？

BLSとは、題名にも書いてあるようにBasic Life Supportの略で、日本語で一次救命処置のことを意味します。一次救命処置とは心臓や呼吸が止まった時に、専門的な道具や薬を使用しないで行う心肺蘇生処置のことをさします。具体的には、呼吸の補助、心臓マッサージ、AED(自動除細動器)の使用までの処置を含みます。専門的な道具が必要ないため、非医療従事者にも獲得可能なスキルであり、広く普及することが望まれています。

BLSはなんで大事なの？

心停止、呼吸停止の状態からその後の社会復帰を目指すにあたり、「救命の連鎖」が重要であるとされています。心停止を認識してから、早期の心臓マッサージ、その前提の上での病院における高度な処置が社会復帰の鍵となります。実際、心肺停止状態から心肺蘇生処置開始までの時間が短いことが、30日後の生存率と関連していると言われており、救命にはみなさまのご協力が欠かせません。



病院での取り組み

当院のような急性期病院においては、全身状態が不安定な患者様も少なくないため、急変対応のスキルというのを常に維持しておくことが重要です。そこで、当院では看護部やリハビリテーション科など日頃から患者様に接する機会の多い職員中心に、急変対応のシミュレーショントレーニングを行なっております。特にリハビリテーション科では、急変する前に異常を察知するよう気を配りながら、いざという時もすぐに対応できるような技術を身につけることで、急性期の患者様に対して安全なリハビリテーションを提供するよう心がけております。実際、30名以上のリハビリテーション療法士がアメリカ心臓協会のBLSコースを修了し、資格を保有しております。今後とも、安全なリハビリテーションを早期から提供できるよう心がけてまいります。

発熱外来のご案内

高校生以上で、発熱・風邪症状のある方のみ対象。

事前にお電話でご予約の上、ご受診下さい。

PCR 検査目的での発熱外来受診はお断りしておりますので、あらかじめご了承ください。

■診療時間：平日 14:00 ～ 17:30

■予約受付番号：**017-757-8750（代表）**

以下のことをお話しください。

①お名前 ②生年月日 ③受診歴（患者ID） ④交通手段
⑤熱、風邪の症状、発症日など。

■持ってくるもの

保険証・お薬手帳など。

■駐車場について

病院裏手の「病院車両・福祉車両専用」の看板のある青空駐車場をご利用下さい。
立体駐車場には車をお停めにならないでください。

■場所

病院裏手（救急入口側）のプレハブ。院内には入らずに救急入口横に設置している
インターホンでお名前と発熱外来で来院した旨をお伝え下さい。担当者がご案内します。

■診察の流れ

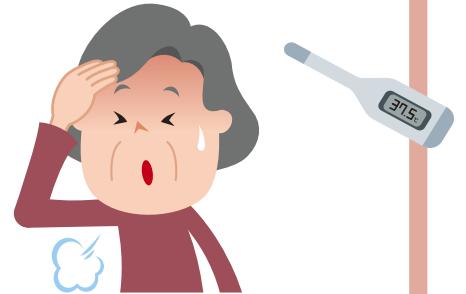
担当者に保険証等をご提出ください。

診療申込書および問診票にご記入いただき、体温測定を行います。

■診療・検査

結果が出るまではお車の中でお待ち下さい。

■お会計・処方箋発行



おくすりの豆知識 ～「柳の木」～

薬はもともと何から出来ているか知ってますか？

…実は、ほとんどの薬が私たちの身の回りにある植物や菌類などから発見され、薬として使えるように加工されています。

ロキソプロフェンやモルヒネといった鎮痛薬同様、「アスピリン」という名前を耳にしたことがあるかと思いますが、アスピリン（成分名：アセチルサリチル酸）は薬の中でも歴史が古く、その源流は紀元前までに遡ることができます。アスピリンの開発の元になったのは、柳（ヤナギ）の樹皮に含まれる「サリシン」という物質が発見されたことによります。それ以前から、ヤナギの成分に鎮痛作用があることは先人たちは自然と知っていたのです。

京都にある三十三間堂は、頭痛に悩まされた後白河法皇が熊野権現の導きに従って、柳の木を棟木に使った「頭痛封じの寺」として知られており、それを題材とした浄瑠璃や歌舞伎の演目も作られています。



編集
後記

新型コロナウイルスのまん延、記録的な大雪と長く厳しい冬も明け、やっと春の訪れを感じるようになりました。今年の桜の開花予想は平年より早い予想となっているそうです。桜まつりといえば弘前城！！と、弘前出身のわたしは思っていますが、みなさんはどこの桜を思い浮かべますか？なかなか遠出ができないご時世ですので、近場の桜スポットを探してみようと思います。おすすめの桜スポットがあればぜひ教えてください！！（T.T）

